

56. 対馬に於ける「マツバナタマバエ」の分布とその被害状態

長崎県対馬林業指導所 富 永 徳

緒 言

対馬に於ける「マツバナタマバエ」は、上島に昭和30年頃より発生し、その後次第に南下下島に侵入しつつあるが、本害虫の被害状態を適確に把握、その防除策を講ずる為、昭和36年9月～10月に亘り、下島の内、美津島町一円並びに巖原町佐須地区をその対象地として選定し被害状態を調査した。それにより本害虫の分布状態が、ほぼ明確になったので茲にその分布と被害状態を報告する。

調査方法

本調査に当り、準備作業として森林調査簿よりマツ

第1図 調査位置図



3) 以上の様な結果を得たのであるが、全林分より資料を採取出来なかつた為、完全な被害分布は、解明出来なかつたが、大まかな分布は把握出来たと考える。

林分を抽出し、5千分の1地図に、マツ林分の分布状態を図示した。そのマツ林分布図より任意に標準木を選定し、各標準木より中央部の南北面より各1本宛資料を採取し、その資料を分析し被害率を算出した。

調査結果

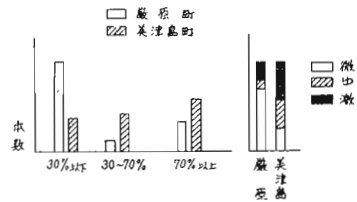
第1表、第2表及び、第1図、第2図に示す通りである。

結 論

本調査にあつては、その資料採取方法に若干の疑問があるが、その侵入度と分布密度がある程度解明出来た様である。

- 被害度は平均し、佐須地区より、美津島地区高く、特に激害を受けるものの比率高く且つ全地区に亘り20%以上の被害を受けている。佐須地区にあつては、下島の下部即ち久根地区は殆んど被害を受けて居らず、上部地区が最も被害が激しい。
- 各調査林分を幼壮合別に分けて見た時その年令別には被害度に大きな相違はない様である。

第2図 町別被害程度表



今後の調査に依り、より完全なものを得て、駆除対策の資料と致したい。

第1表 地区別被害率調査表

町村名	地区名	全林面積	調査面積	比率	被害率算定基礎			被害率 範囲	調査 箇所	林令
					全葉数	被害葉数	被害率			
巖原町	連田	11.16	5.83	55.2	1,408	1,060	75.3	18.3~91.8	7	4~50
	阿小茂	42.20	3.53	8.0	905	742	81.9	66.8~96.0	4	6~20
	下原	9.69	0.62	6.4	719	423	58.8	6.0~92.5	3	20~40
	根	61.25	2.65	4.3	600	167	27.8	12.8~85.5	6	35~50
	巖原町	151.80	36.51	24.0	2,725	691	25.4	0~88.7	20	2~30
	久根	92.67	9.37	10.0	4,477	375	8.0	0~89.3	19	5~22
	計	97.92	27.01	27.5	2,913	74	3.0	0~54.6	13	5~45
	計	466.69	85.52	18.3	13,747	3,532	25.7	0~96.0	72	2~50

美津島町	鷄	264.60	55.91	21.0	6,621	4,133	75.2	2.0~98.6	39	1~60
	根	2.40	63	26.0	779	466	59.8	27.8~90.6	4	2~16
	洲	56.00	26.20	46.7	665	375	56.4	21.6~93.4	5	3~40
	加	19.90	2.31	11.6	120	28	23.3	16.8~30.0	2	2~25
	芦	5.73	5	0.8	58	13	22.3	22.3	1	50
	浦	88	50	5.68	366	354	96.7	96.7	1	20
	居	4.74	3.06	64.5	1,508	703	46.6	19.1~88.3	10	2~40
	須	2.66	2.51	94.3	496	277	55.8	1.0~87.9	3	3~60
	船	356.91	91.17	25.5	10,613	6,349	59.8	1.0~98.6	65	1~60
	計									

第2表 幼壯別被害率調査表 (巖原町)

地区名	幼壯別	令級	被害率		
			全葉	被害葉	%
巖原町 阿連	幼令林	4~20	829	626	15.5
	壯令林		579	434	75.0
	計		1,408	1,060	75.3
小茂田	幼令林	6~20	905	742	81.9
下原	幼令林	20	221	13	5.9
	壯令林	30~40	498	410	82.9
	計		719	423	58.8
檜根	壯令林	35~50	600	167	27.8
上槻	幼令林	2~20	2,278	613	26.9
	壯令林		447	78	17.4
	計		2,725	691	25.4
久根浜	幼令林	5~22	4,477	375	8.0
久根田舎	幼令林	5~22	2,686	71	2.6
	壯令林	35~45	227	3	1.3
	計		2,913	74	2.5
巖原町	幼令林		11,396	2,440	21.4
	壯令林		2,351	1,092	46.4
	計		13,747	3,532	25.7

第3表 幼壯別被害率調査表 (美津島町)

地区名	幼壯別	令級	被害率		
			全葉	被害葉	%
美津島町 鷄知	幼令林	1~15	4,212	2,546	60.4
	壯令林	28~60	2,409	1,587	65.9
	計		6,621	4,133	62.4
根 緒	幼令林	2~16	779	466	59.8
洲 藻	幼令林	3~5	517	343	66.3
	壯令林	40	148	32	21.6
	計		665	375	56.4
加 志	幼令林	2	55	17	30.9
	壯令林	25	65	11	16.9
	計		120	28	23.3
芦 浦 鴨居瀬 久須保	壯令林	50	58	13	22.3
	幼令林	20	366	354	96.7
	幼令林	2~20	596	291	48.8
	壯令林	30~40	912	412	45.2
計		1,508	703	46.6	
大船越	幼令林	3	217	104	47.9
	壯令林	60	279	173	62.0
	計		496	277	55.8
美津島町	幼令林		6,742	4,121	61.1
	壯令林		3,871	2,228	57.6
	計		10,613	6,349	59.8

57. 佐賀県林業試験場におけるコガネムシ類 群集について

佐賀県林・試 前 原 宏

はじめに

1960年3月、コガネムシ類幼虫の被害がひのき苗圃に生じ、6月末成虫の暴食が多くの樹葉に目立ち始めた。その後誘殺灯を設け、飛来したコガネムシ類 Melolonthides の種類とその個体数を調べることが出来たので、その結果を報告する。

調査方法

調査期間は7月11日~8月10日と、翌1961年6月1

日~7月31日。誘殺灯は樹木見本園附近(南側)と、これより約300m離れた苗圃(北側)の2カ所に設置した。終夜点灯し、翌日カブトムシ以外の種とその個体数を記録した。

結果と考察

I 1960年、南側の飛来数

第1表は半旬別の飛来数で、時期別合計数から、誘殺灯設置時機が遅く、成虫発生最盛期後の消長を示し